

八峰町の地方創生へ向けて

平成27年11月30日、町は「八峰町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。同戦略は、人口減少を抑制し、将来にわたって活力ある町の創生を町民と行政が一体となって取り組むことを目的に策定されました。

総合戦略には、4つの基本的方向と、それぞれの具体的な施策を策定しており、その成果を検証することとなっています。

ここでは、7月に開催した町民や関係機関などで構成される検証委員会で議論された、これまでの主な取り組みと今後の取り組みなどを紹介します。

～八峰町まち・ひと・しごと創生総合戦略を振り返って～

4つの基本的方向		基本的方向	具体的な施策	基本的方向	具体的な施策
I 仕事づくりのための産業振興	II 移住・定住対策	III 少子化対策	IV 人口減少社会への対応	I 仕事づくりのための産業振興	(1) 菌床しいたけ産業基盤強化事業
					(2) 生葉栽培推進事業
					(3) 雇用創出活動支援事業
					(4) 創業塾等開催事業
(5) 空き家公共施設活用支援事業	II 移住・定住対策				
(6) 特産品販路拡大事業					
(7) 滞在型観光推進事業					
(8) 人材育成事業					
(9) 農業ヘルパー制度創設事業					
(1) 定住促進用空き家改修事業					
(2) 若者及び子育て世帯支援住宅整備事業					
(3) 情報発信強化事業					
(4) 移住促進イベント事業					
(5) 田舎暮らし体験事業					
(6) 定住奨励金事業					
(7) 移住促進に向けたネットワーク構築事業					
(8) 移住者受入体制強化事業					



● 町提案型・移住者提案型リフォーム事業を継続実施
● 動画配信事業

今後の取り組み

● 町提案型リフォーム、移住者提案型リフォーム：各3件
● 動画配信：6回

これまでの取り組み

懸案である空き家を体験型事業の実施や移住希望者等に貸し出すための住宅として整備し、移住・定住者の確保に繋げる。「移住者提案型リフォーム」については、移住者によるデザイン検討から入居までを動画配信等メディアを通じて全国に発信していく。

II 移住・定住対策

(1) 定住促進用空き家改修事業

事業内容

懸案である空き家を体験型事業の実施や移住希望者等に貸し出すための住宅として整備し、移住・定住者の確保に繋げる。「移住者提案型リフォーム」については、移住者によるデザイン検討から入居までを動画配信等メディアを通じて全国に発信していく。



● 秋田県との協働事業として、H28年度から事業に着手。
H28：用地買収、実施設計、JAPAックセンターの増設
H29：研修ハウス棟の建設

今後の取り組み

● 秋田県と協働で進めてきた「おがる八峰しいたけプロジェクト」が承認。(H28・1・15)

これまでの取り組み

ホダ生産ラインの改良、拡張により、ホダ生産量を従来の200万個から300万個に増産し、生産希望者に安定的に供給することで、『しいたけ産業』の基盤強化を促進するとともに、町内に新たな雇用の場を創出する。

I 仕事づくりのための産業振興

(1) 菌床しいたけ産業基盤強化事業

事業内容

世界自然遺産白神山地のネームバリューを活かした『八峰白神商品』の開発等を行うとともに、首都圏等での販路拡大・開拓及び観光PRもあわせて展開することにより、町内事業所の生産性及び経営基盤の強化等を図る。

これまでの取り組み

● はつぼううましブランド推進協議会と協働で新商品の開発及び特産品の販売・PRに努めた。
● 町イチ！村イチ！2015(東京都、ハタハタフェスティバル(東京都)への参加など)

今後の取り組み

● (★)は検証委員からの意見
● はつぼううましブランド推進協議会と協働で町の特産品を活用した新商品の開発に努めるとともに、試食販売等を通して、町の特産品等のPRに努める。
● モニターアンケートを実施し、新商品開発のための情報収集を行う。
★物産販売自体に予算を使うのではなく、商品開発や、リピーターづくりのために予算を使っていくべき。

(6) 特産品販路拡大事業

事業内容

世界自然遺産白神山地のネームバリューを活かした『八峰白神商品』の開発等を行うとともに、首都圏等での販路拡大・開拓及び観光PRもあわせて展開することにより、町内事業所の生産性及び経営基盤の強化等を図る。

これまでの取り組み

● はつぼううましブランド推進協議会と協働で新商品の開発及び特産品の販売・PRに努めた。
● 町イチ！村イチ！2015(東京都、ハタハタフェスティバル(東京都)への参加など)

今後の取り組み

● (★)は検証委員からの意見
● はつぼううましブランド推進協議会と協働で町の特産品を活用した新商品の開発に努めるとともに、試食販売等を通して、町の特産品等のPRに努める。
● モニターアンケートを実施し、新商品開発のための情報収集を行う。
★物産販売自体に予算を使うのではなく、商品開発や、リピーターづくりのために予算を使っていくべき。



● 「ユーチューブ」による発信、「フェイスブック」による発信、全国移住ナビの充実

今後の取り組み

● 「ユーチューブ」による発信、「フェイスブック」による発信、全国移住ナビの充実(アクセス数全国20位 県内1位)

これまでの取り組み

ウェブサイトをSNSを有効活用するとともに、移住促進パンフレットやプロモーション映像等を製作することで、白神山や日本海などの自然の豊かさや暮らしやすさなどを効果的に情報発信し、町内への移住・定住を促進する。

(3) 情報発信強化事業

事業内容

ウェブサイトをSNSを有効活用するとともに、移住促進パンフレットやプロモーション映像等を製作することで、白神山や日本海などの自然の豊かさや暮らしやすさなどを効果的に情報発信し、町内への移住・定住を促進する。

(8) 人材育成事業

事業内容

後継者や新規就業者、既に農・漁業等に取り組んでいる就業者に対し、きめ細かな支援を行うことで、地域産業に貢献できる意欲ある人材を育成する。

これまでの取り組み

● 各産業を牽引するリーダー育成を目的に、新しい分野に挑戦するために必要な技術研修費用の一部について、補助金を交付。
農業分野4団体、商工業分野1団体

今後の取り組み

● 農業技術センターでの研修受け入れを能代山本圏域に拡大。
★人材育成事業は、どちらかと言えば、現就業者のための研修制度。新規就業者を育成するためには、別の支援制度を検討していく必要がある。



(5) 田舎暮らし体験事業

事業内容

お試し暮らしや体験居住を通して移住前の様々な不安を解消し、本格的な移住へと繋げる。また、この田舎暮らし体験等の事業を通じて、都市と地域の共生を目指し、都市住民と地域住民の良好な関係を築き、地域社会の活性化を図る。

これまでの取り組み

● 第1回移住ツアー(H28・3・19) 21) 空き家見学、リフォーム体験等

今後の取り組み

● 移住ツアーの開催
● 八峰町交流促進事業：広域的な交流を促進し、本町の定住及び交流人口の増加を図るため、交流促進事業を行う団体に対し補助金を交付する。

